



QND Plus Ver.9.4 正誤表

2007年12月5日 クオリティ株式会社

マニュアルの内容に誤り、追記事項があります。下記、正誤対象表をご覧ください。

■ 導入・メンテナンス編

| ページ | 見出し | 誤 | 正 |
|--------|--|---|--|
| New41 | マスターサーバとスレーブサーバを同期する 表内「同期：ファイル等」の説明 | スターサーバにないファイル、設定がスレーブサーバに存在する場合は、そのファイル、設定がスレーブサーバから削除される | → マスターサーバにないファイル、設定がスレーブサーバに存在する場合は、そのファイル、設定がスレーブサーバから削除される |
| 42 | 3-5. スレーブサーバの運用 本文 | グループのインポート・エクスポートについては、『運用編』「IV 4-3. グループのインポート・エクスポート」を、フィルタのインポート・エクスポートについては、『運用編』「IV 5-3. フィルタのインポート・エクスポート」を参照してください。 | → グループのインポート・エクスポートについては、『運用編』「IV 4-2. グループのインポート・エクスポート」を、フィルタのインポート・エクスポートについては、『運用編』「IV 5-2. フィルタのインポート・エクスポート」を参照してください。 |
| New72 | 4-3. インストール手順 手順7の下 | ☐「ユーザアカウントを作成しますか？」が表示されます。(Windows NTクライアントのみ) | → ☑「ユーザアカウントを作成しますか？」が表示されます。(Windows NT系クライアントのみ) |
| 111 | 4-2. ホスト一覧に表示されるべき情報が表示されない場合の対応 表内「上記2つにも該当せず、原因不明」の説明 | QNDサーバをアンインストールし、再度インストールし直しても、問題が解決しない場合は、インベントリデータの再生成を行う インベントリデータの再生成については、「インベントリデータの再生成」(P. 112) 参照 | → QNDサーバをアンインストールし、再度インストールし直しても、問題が解決しない場合は、インベントリデータベースの再生成を行う インベントリデータベースの再生成については、「インベントリデータの再生成」(P. 112) 参照 |
| 112 | インベントリデータの再生成 タイトル | インベントリデータの再生成 | → インベントリデータベースの再生成 |
| 112 | インベントリデータの再生成 本文 | インベントリの保存先とインベントリ表示先の設定に問題がなく、QNDサーバを再インストールしても問題が解決しない場合は、インベントリデータの再生成を行います。 | → インベントリの保存先とインベントリ表示先の設定に問題がなく、QNDサーバを再インストールしても問題が解決しない場合は、インベントリデータベースの再生成を行います。 |
| 112 | インベントリデータの再生成 | 1 QNDコンソールで [ツール] - [インベントリデータの再生成] をクリックします。 | → 1 QNDコンソールで [ツール] - [インベントリデータベースの再生成] をクリックします。 |
| 112 | インベントリデータの再生成 手順2の後 | 以上で、インベントリデータの再生成は終了です。 | → 以上で、インベントリデータベースの再生成は終了です。 |
| New145 | 5. iAMTを利用するための 設定 | 17 「DHCP Enabled」にチェックを入れます。(推奨) | → 17 「DHCP Enabled」にチェックを入れます。(必須) |
| New145 | 5. iAMTを利用するための 設定 | 18 「DHCP Enabled」のチェックを外した場合は、「IP Address」、「Subnet Mask」、「Gateway Address」、「Preferred DNS Address」、「Alternate DNS Address」の値をそれぞれ設定します。 | → <削除> |

| ページ | 見出し | 誤 | 正 |
|---------|-------------------|---|---|
| New 145 | 5. iAMTを利用するための設定 |  ヒント QNDでiAMT対応クライアントを管理するためには、マザーボードで設定されているIPアドレスと、Windowsで取得されるIPアドレスが一致している必要があります。両者が一致しない場合は、QNDによるインベントリ参照や、電源コントロールは行えません。 |  注意 QNDで、iAMT機能によるインベントリ参照や、電源コントロールを行う場合は、マザーボードのIPアドレスとWindowsのIPアドレスをDHCPにする必要があります。 |

■ 運用編

| ページ | 見出し | 誤 | 正 |
|-----|---|---|---|
| 18 | 3-2. ホスト環境を確認する ホスト環境別運用確認 チャート 参照先 | IV 1-2. 定期的にQNDサーバと接続できる場合 IV 1-3. 定期的にメールサーバと接続できる場合 IV 2-2. メールサーバと接続できる場合 IV 2-3. FTPサーバと接続できる場合 | VI 1-2. 定期的にQNDサーバと接続できる場合 VI 1-3. 定期的にメールサーバと接続できる場合 VI 2-2. メールサーバと接続できる場合 VI 2-3. FTPサーバと接続できる場合 |
| 19 | 3-2. ホスト環境を確認する ホスト環境別運用確認 チャート 参照先 | IV 2-4. ネットワーク接続できない場合 IV 5. メモリ容量が少ないホストの情報を収集する IV 4. Macintoshクライアントの情報を収集する IV 4. UNIXクライアントの情報を収集する | VI 2-4. ネットワーク接続できない場合 VI 5. メモリ容量が少ないホストの情報を収集する VI 3. Macintoshクライアントの情報を収集する VI 4. UNIXクライアントの情報を収集する |
| 30 | インベントリ情報 本文 | ホスト一覧の左ペインには、インベントリ情報が表示されます。 | ホスト一覧の右ペインには、インベントリ情報が表示されます。 |
| 40 | 選択されていない行のみを表示する 本文 | QIVコンソールの台帳表示ウィンドウにて対象のレコードを右クリックし、コンテキストメニューの「 選非選択行を表示 」をクリックします。 | QIVコンソールの台帳表示ウィンドウにて対象のレコードを右クリックし、コンテキストメニューの「 非選択行を表示 」をクリックします。 |
| 50 | ツールバー 表内アイコン | 右の記述を追加 | ホスト情報の表示更新のアイコンは青色 ネットワーク情報の表示更新のアイコンは赤色 |
| 58 | 各タブの説明と設定可能な タスク 表内「バックグラウンド実行」の説明 | 詳細は、『リファレンス』「 II 2-15. バックグラウンド実行 」参照 | 詳細は、『リファレンス』「 II 15. バックグラウンド実行 」参照 |
| 59 | タスクの処理順序 | 右の記述を追加 | ②ポリシー設定の後に③SUのインストールが入る。以降の順序がずれ、⑮サーバ設定となる |

| ページ | 見出し | 正 |
|-----|---------------------------|--|
| 314 | 2-2. メールサーバと接続できる場合 画像 | <p>QND サーバと接続できるネットワーク</p> <p>QND サーバと接続できないホスト (別ネットワークなど) メールサーバと接続できる場合</p> <p>タスクの設定 QND コンソール QND サーバ (マスターサーバー)</p> <p>タスク処理の設定をスケジュール送信 回収</p> <p>タスク処理の設定を受信してタスク実行 メールサーバ</p> <p>イベントリ送信 ホスト メール対応 QP オプション</p> |

■ リファレンス

| ページ | 見出し | 誤 | 正 |
|-----|---|---|---|
| 40 | 4-6. スタンドアロン実行の準備 画像 | | |
| 41 | 4-6. スタンドアロン実行の準備 表内「OS」の説明 | [WindowsNT4/2000/2003/XP] | → [WindowsNT4/Windows2000以降] |
| 114 | 8. 配布 表内「削除」の説明 | プロパティ一覧上で選択しているソフトウェアの詳細情報を表示します。 | → <削除> |
| 121 | 8-4. 「インストールするソフトウェアのプロパティ」 - 「ファイル転送」タブ ヒント: 転送先がスレーブサーバの場合 | 設定方法については、『導入編』「II 3-5. スレーブサーバの運用ソフトウェアのインストールを行うタスクを利用する」を参照してください。 | → 設定方法については、『導入編』「II 3-5. スレーブサーバの運用ソフトウェアのインストールを行うタスクを使用する」を参照してください。 |
| 218 | 9-1. 「エクストラ項目」機能が使用できる台帳 | QIV Ver. 5.3で「エクストラ項目」機能が使用できるのは次の台帳です。 | → QIV Ver. 5.4で「エクストラ項目」機能が使用できるのは次の台帳です。 |